# 平成30年度 行政評価事業別シート

		実計対象	■評価対象	新規		完了事業	П	ゼロ予算事業		担当者	神林久雄
				利乃元	_						
		全体計画				経費区分		実施計画事業費	ĺ	内線	3522
事務事業名		4913	調査・計画策定事	業							
所	属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課									
施	策	06013000 土地の有効利用の推進									
予算	会計	01	一般会計								
科目		080401	土木費・都市計画	<b>ī費・都市計</b>	画総務	务費					
14 =	事業	030000	調査・計画策定事	業							
事業目的事業			集概	要・効果							
須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想				想	都市計画制度による秩序ある開発の維持・促進と健康						
	に基づる	き、都市計	画道路や都市公園	等の都市基	盤整傭	莆	で文化的な都市生活及び機能的な都市活動が確保され				
	を図り、	第五次総	合計画に盛り込ま	れた『みんな	ょが快		る。				
	適に生活	舌できるま	まづくり』を推進	僅するため、	調査、						
	計画策算	定を行う。									

## PLAN-DO

# 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
都市計画道路、用途の都市計画変更決定	都市計画法34条11号の区域指定
都市計画法34条11号の区域指定(日野、豊洲、日滝)	第7回線引き定期見直しに向けた調査研究
須坂長野東インターチェンジ周辺地区の開発を推進す	長野都市圏総合都市交通体系調査の実施
るためプロジェクトチームを設置した。	インター周辺開発の推進
平成29年度 実績	平成30年度 予定
1. インター周辺開発の推進	1. インター周辺開発の推進
2. 須坂市都市計画マスタープランの見直し	2. 須坂市都市計画マスタープランの見直し
3. 地区計画(五閑地区)の検討	3. 地域未来投資促進法に基づく土地利用調整計画の策
4. 長野都市圏総合都市交通体系調査の実施	定
5. 都市計画基礎調査の実施	4. 地区計画(井上福島地区)の検討
平成31年度 予定	平成32年度 予定
1. インター周辺開発の推進	1. インター周辺開発の推進
2. 須坂市都市計画マスタープランの見直し	2. 地区計画(井上福島地区)の決定
3. 地区計画(井上福島地区)の検討	3. 区域区分の見直し
4. 区域区分の見直し	4. 都市計画道路の見直し
5. 都市計画基本図の修正	

指	標名	都市計画審議会で審議を行った都市計画決定、変更、廃止の累計件数						
算	式	1 単位 件						
年			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32:	年度
В	標値	目標	1	1	1	1		1
	1年 10	実 績	0	1				
指	標選定	都市計画区域区分、用途地域、都市施設について決定を行うには審議会への諮問が必要なため。						
	理由							
	終年度	都市計画	画の見直し状況に合∤	つせた都市計画審議会	:にて決定、変更、廃	止をおこなった審議詞	義案の累計件	数
	の根拠							
	標名							
算	式						単位	
年	度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32:	年度
B	標値	目標						
		実 績						
	標選定							
	理由							
	終年度							
	の根拠							
	標名						224 LL	
算	式		<b>亚 + 00 + +</b>	<b>亚 + 00 + +</b>	ㅠ <del>ᄼ</del> ᄵᄼᅔᆇ	파란에 두늄	単位	te de
年	度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32:	牛医
目	標 値	目標						
+15-4	年,给中	実 績						
	標選定							
	理由							
	終年度							
日碍	の根拠							

事業費 (単位:千円)

A-16-26			(TE: 113)
		平成29年度	平成30年度
		決  算	予  算
事業費		21, 003	11, 061
	国庫支出金	0	0
特定	都道府県支出金	1, 527	0
財 源	地方債	0	0
	その他	0	5, 000
一般財活	源	19, 476	6, 061
人員数	正規職員	0.8	1.4
(人)	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	正規職員	5, 719. 2	10, 008. 6
人員	嘱託職員	0.0	0.0
コスト	臨時職員	0.0	0.0
	計	5, 719. 2	10, 008. 6
市民一	人当たりの経費	0.5	0.4
総額		26, 722. 2	21, 069. 6

(単位:千円)

平成29年度決算 事業費の内訳				
主な節	金額	内容		
8節 報償費	0			
11節 需用費	0			
13節 委託費	19, 688	都市計画基本図一部修正業務委託4, 709 都市計画マスタープラン一部修正業務委託14, 979		
15節 工事請負費	0			
19節 負担金補助及び交付金	1, 315	長野都市圏総合都市交通体系調査負担金1,315		
その他	0			

(単位:千円)

ではのたちとれては、古老弟の内部				
		成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容		
8節 報償費	0			
11節 需用費	0			
13節 委託費	10, 862	都市計画基本図修正業務委託1,000 都市計画マスタープラン等作成業務委託9,862		
15節 工事請負費	0			
19節 負担金補助及び交付金	4	長野都市圏総合都市交通体系調査負担金4		
その他	195	都市計画マスタープラン策定委員謝礼195		

#### CHECK

CHECK	im pulat im	
	個別評価	
項目	評価観点	評価内容
	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか	
	・行政内部の管理運営上必要な事業であるか	
必要性	・市が主体となり実施すべき事業か	必要不可欠
	・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか	
	・目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか	
	市が実施しなければならない必要不可欠な事業である。	
評 価		
コメント		
	・事業の成果は上がっているか	
	・目標に対する達成度は十分か	
有 効 性	・市民生活上の課題解決に貢献しているか	   大変有効
13 W 11	・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか	72 670
	・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	
	須坂市の土地利用や交通計画など市の課題解決につながっている。	
=a: /ac		
評 価		
コメント		
	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか	
効 率 性	・効率性向上に努めているか	変わらない
	・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	
	効率を追求する事業ではないが、生産性の向上につながる計画の立案や土地利用の	)在り方に努めていく。
評価		
コメント		

描い海に	(決算年度の	野組み理題
401V V) 1/2 V)	(太皇中冷)	カメボログア 古木 小見

予定通りに事業の実施ができた。

内部評価【二次】 4頁

## ACTION

1次評価 2次評価

I	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
I	総合評価コメント		2次評価コメント	
	インター周辺の開発を含め、必要な開発を誘導するために都市計画マスタープランの見直しなどの必要な計画の策定を進める必要がある。		2次評価コメント まちづくりに大きな期待の出来るインター周辺開発な どを含め、開発誘導のための都市計画マスタープラン の見直しなど、必要な計画の策定を進める。	

#### 外部評価

, 1 PM M 1 PM	
次年度以降の方向性	
外部評価コメント	